Dual-Eye 4th

ユーザー・マニュアル

（Ver 6.0.0.20）

© Copyright 2015. All rights reserved.

【R05-0129】

目次

Chapter 1. はじめに 3

本製品をお使いになる前に 8

1.1 ハードウェアの仕様 9

1.2 LED 表示 10

1.3 デュアル・モニター仕様（HDMI） 11

Chapter 2. Dual-Eye 4th の準備 13

2.1 クライアント PC 要求仕様 13

2.2 Dual-Eye 4th への接続 14

2.2.1 EZ Search のインストール 14

2.2.2 Dual-Eye 4th への接続 21

Chapter 3. ローカル・ディスプレイでの操作 22

3.1 ログインする 22

3.1.1 匿名アクセス 23

3.2 映像表示 25

3.2.1 映像表示モードの選択 25

3.2.2 映像表示での主な機能 26

3.2.3 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック） 32

3.3 録画再生 33

3.3.1 録画再生の手順 33

Chapter 4. 設定 35

4.1 カメラ設定 35

4.1.1 映像表示設定 39

4.1.2 カメラの状態 41

4.2 ネットワーク設定 42

4.2.1 ネットワークサービス 44

4.3 管理 45

4.3.1 ライブモニタ設定 ※PC のみのメニューです。 45

4.3.2 ユーザー管理 45

4.3.3 ログ・システム 48

4.3.4 設定の保存／読み込み（設定の初期化） 49

4.4 システム 50
4.4.1 機器情報 50
4.4.2 システムのアップグレード.....51
4.4.3 言語.....52
4.4.4 日付と時間 52
4.4.5 再起動とシャットダウン 53

Chapter 1. はじめに

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずユーザー・マニュアルの内容をご確認ください。

= 保証の範囲 =

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。

注意：

1. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は一切責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています**（次は図記号の例です）。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は、販売店に依頼してください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

●放置せずにただちに電源を切り、販売店に連絡してください。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

不安定な場所に置かない

落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因となります

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行って使用してください。
アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください
（アース工事費は本製品の価格には含まれておりません）。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

通気孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

機器設置の注意点

●ユーザー・マニュアルを読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

●電源

必ず製品付属の AC アダプターをご利用ください。

●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

●警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

＝＝　安全にお使いいただくために　＝＝

1. 本製品は外気温 0–40 度、湿度 20–80%の環境下（※結露なきこと）でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。
6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. 万が一の感電防止のためアース（接地）することをお勧めします。
9. レコーダー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的（1-2ヵ月）に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
10. 電源コードの上にものを置かないでください。
11. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
12. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。
13. 本製品はネットワーク上でパケットロスなどの障害が発生した場合に、配信が途切れることがあります。
14. 本製品は安定した動作を継続するために必要と判断した場合、自動的に再起動することがあります。

免責について

弊社製品は、カメラで監視している画像のモニタリングを目的に作られています。この製品単独で犯罪などを防止するものではありません。

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による障害または本製品の破損などの損害・被害
3. お客様による本製品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
5. 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
6. お客様による監視映像が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
7. 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本製品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと
8. その他、保証書に記載されている内容

ネットワークに関するお願い

本製品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 本製品を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本製品の不正操作
- 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任のもと、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

1. ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本製品を使用してください。
2. PC が接続されているシステムで本製品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除を定期的に行ってください。
3. 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
4. 管理者で本製品にアクセスした後は、必ずすべてのブラウザを閉じてください。
5. 管理者のパスワードは定期的に変更し、設定（※追加も含む）を行ったユーザー名、パスワードは適切に保管してください。
6. 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、 FTP サーバー情報、 DDNS サーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施し

てください。

使用上のご注意

1. 使用する装置に記録された情報内容は、万一、消失しても、故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
2. 画像更新速度は性能、ネットワーク環境、PC 性能、被写体、アクセス数等により遅くなることがあります。

画像情報の取り扱いについて

使用する装置に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品が廃棄、譲渡、修理等で第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。

設置上のお願い

以下の場所には設置しないでください

1. 本製品・ケーブルなどが容易に破壊されるような場所
2. その他、取扱説明書に記載されている内容

個人情報・プライバシーの保護について

監視カメラシステム使用に際して記録された、本人が判別できる情報等は、「個人情報の保護に関する法律」で定める「個人情報」に該当する場合があります。その場合は、記録された情報等を、同法に従って適正にお取り扱いください。

※「個人情報保護委員会」が定める「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」中の「個人情報に該当する事例」をご参照ください。

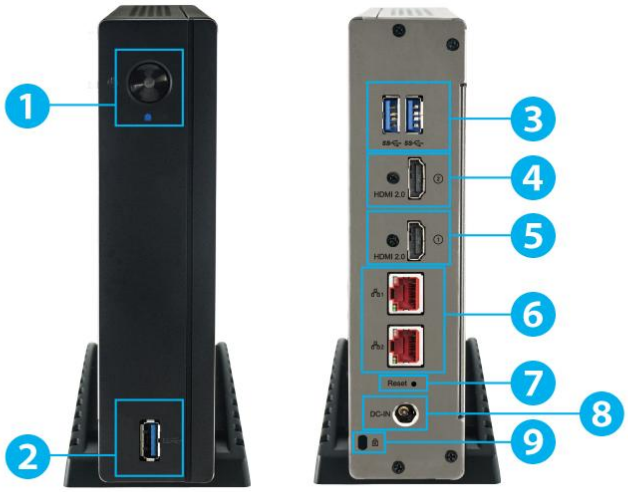
監視カメラシステム使用に際しては、プライバシー保護についてもご配慮ください。

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、同梱品がすべて揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様



1. 電源ボタン
2. USB 3.2 Gen2× 1
3. USB 3.2 Gen2× 2
4. HDMI 2.0×1（※モニター2）
5. HDMI 2.0×1（※モニター1）
6. 2.5G BASE-T（RJ-45）× 2
7. リセットボタン
8. 電源端子
9. K-lock セキュリティスロット

1.2 LED 表示

フロントパネル（Dual-Eye 4th）

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	青	電源オンの状態
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態

背面 RJ-45 の LAN ポートの状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Speed （上）	消灯	10M / 100M 接続か 未接続の状態
		オレンジ	1000M 接続の状態
LAN	Link/Activity （下）	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態

注意：

※Dual-Eye 4th の電源をオフにする時は、電源ボタンを 2 秒以上押してください。

※Dual-Eye 4th の電源をオンにする時は、電源ボタンを 3 秒以上押してください。

＝初期化方法＝

※Dual-Eye 4th を初期化する場合は、背面のリセットボタンを押してください。

→電源が入った状態で「ピッ」と音が鳴るまでリセットボタンを押し続け、音が鳴ればボタンを離してください。その後、リセット動作が実行されます。

1.3 デュアル･モニター仕様（HDMI）

映像出力用に HDMI 端子×２を持ちます。その両方にローカル･ディスプレイを接続し、同時に映像を出力可能です。

HDMI 端子を２個同時に使用することで、下記モード（複製モード、個別モード）を選択することができ、現場の状況に合わせて運用することができます。

●複製モード

モニター１を複製した画面をモニター２で表示するモードです。

●個別モード

モニター１、２それぞれに異なったカメラの映像出力ができるモードです。

※モニター１、２でカメラの重複表示はできません。

【組み合わせ A】

ディスプレイが 2 台ともフル HD（1920 x 1080）解像度の場合、どちらもフル HD で表示されます。

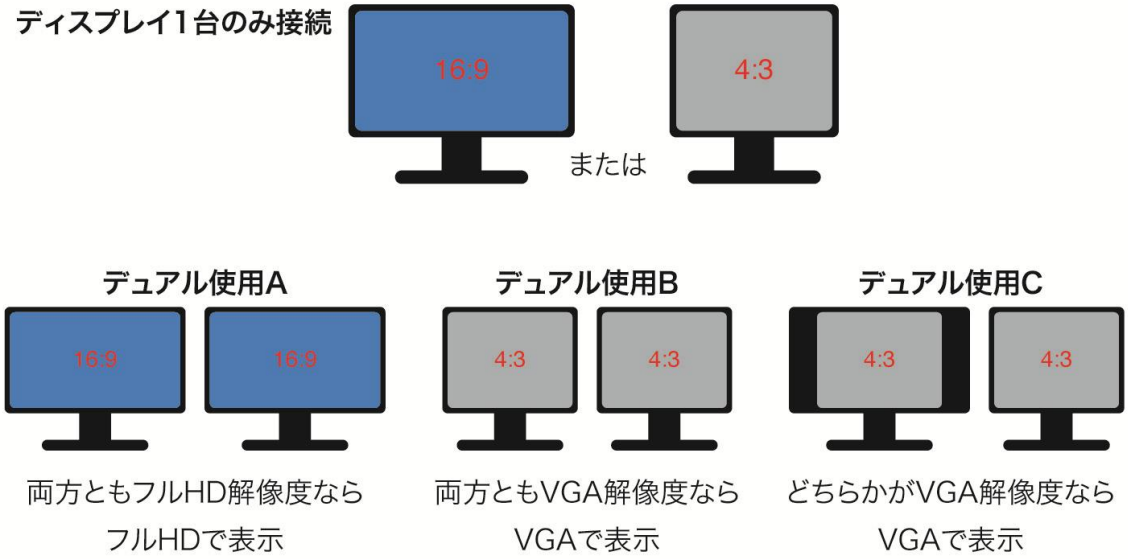
※デュアル・ディスプレイ使用時は、必ず 1920×1080 のモニターを使用してください。

【組み合わせ B】

ディスプレイが 2 台とも VGA（1024 x 768）解像度の場合、どちらも VGA で表示されます（※デュアル・ディスプレイ使用時、この組み合わせは使用できません）。

【組み合わせ C】

ディスプレイの 1 台がフル HD、もう 1 台が VGA 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます（※デュアル・ディスプレイ使用時、この組み合わせは使用できません）。



※個別モードにてそれぞれ異なる分割表示を行う場合は、必ず 1920×1080 のモニターを使用してください。

Chapter 2. Dual-Eye 4th の準備

2.1 クライアント PC 要求仕様

Dual-Eye 4th に接続して設定を行うために最低限必要な仕様は以下の通りです。

●オペレーティング・システム

Microsoft® Windows 11 Professional

●ブラウザ※設定用

Microsoft® Edge

●Adobe Reader

ユーザー・マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

※クライアント PC を使用して、DIGIMobile を使用しての映像のモニタリングはできません。

2.2 Dual-Eye 4th への接続

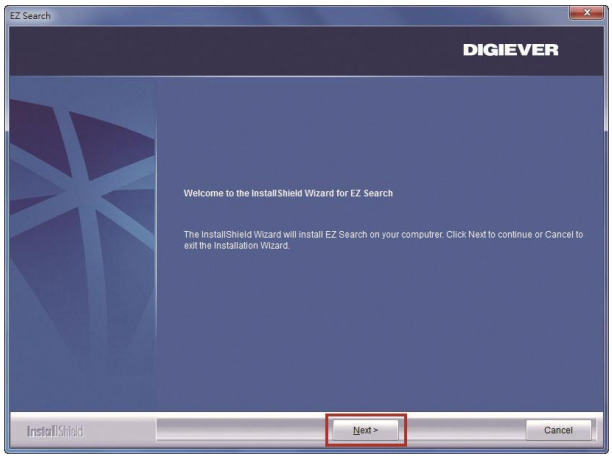
弊社ホームページより、ユーザー・マニュアル及びユーティリティをインストールしてください。

URL：https://www.rodweb.co.jp/download/index.html

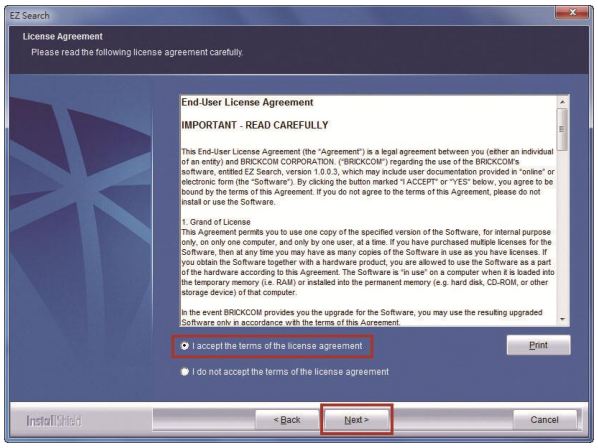
（ROD ホームページ内「ダウンロード」の項目内よりダウンロードできます）

2.2.1 EZ Search のインストール

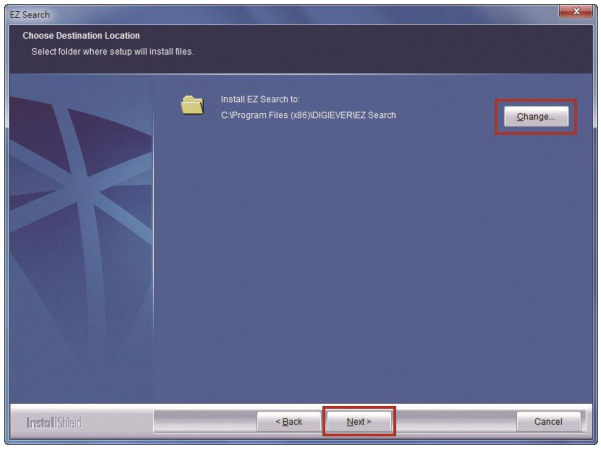
「Install EZ Search」をクリックして Dual-Eye 4th 検索ユーティリティを PC にインストールします。



インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを続行します。

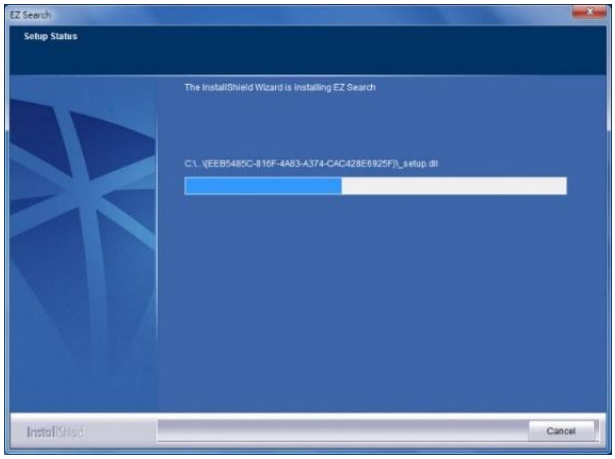


ライセンスの内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。

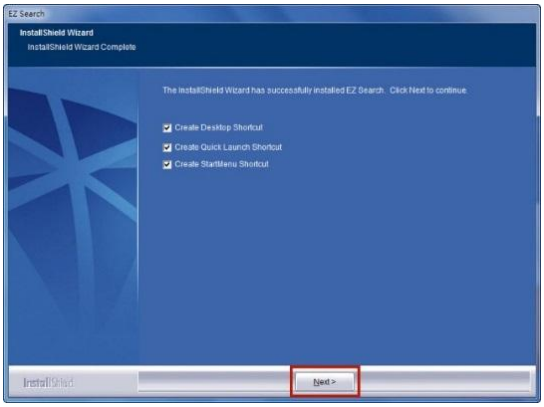


EZ Search は C:¥Program Files （x86）¥DIGIEVER¥EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change…」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。

インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

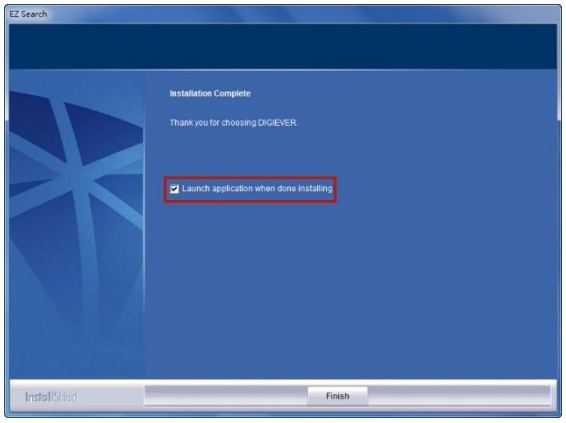


EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。

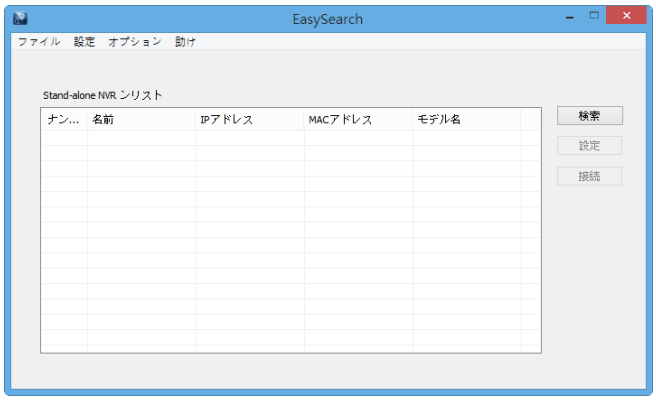


インストールが完了しました。

「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

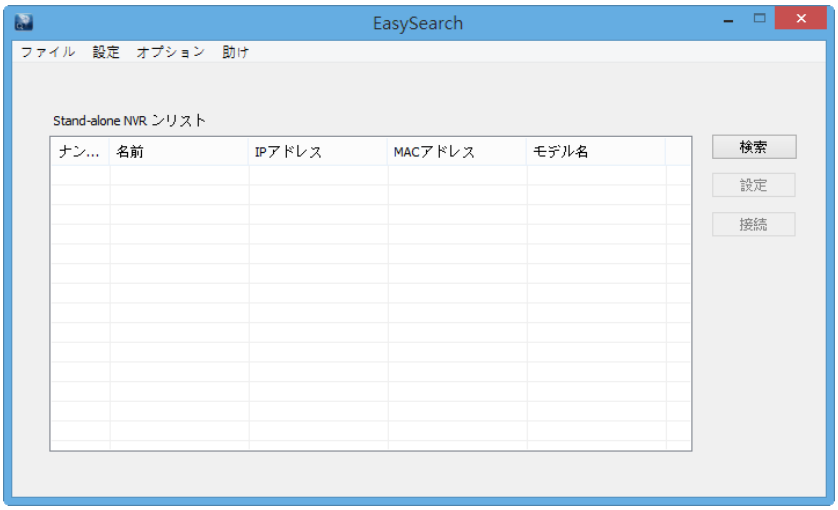


EZ Search は同一サブネット上の Dual-Eye 4th を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

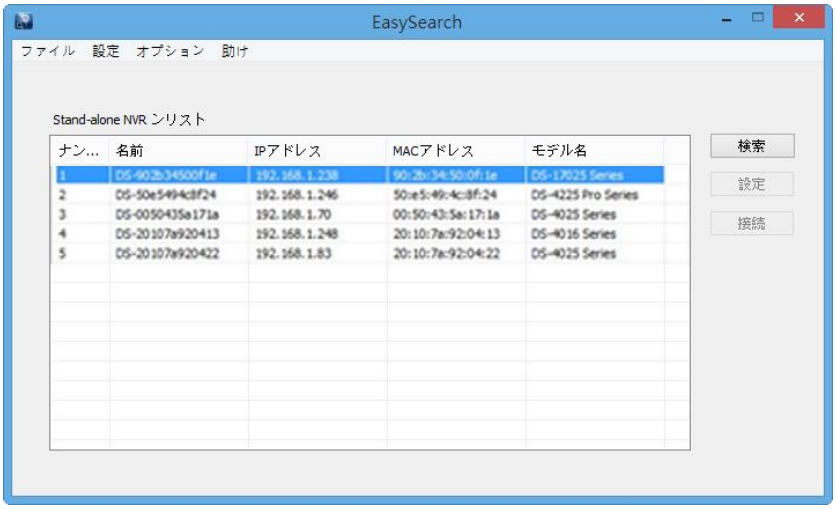
EZ Search の使い方

1. 検索（UPnP）

EZ Search を起動して検索を行うと同一サブネットの Dual-Eye 4th を検索します。

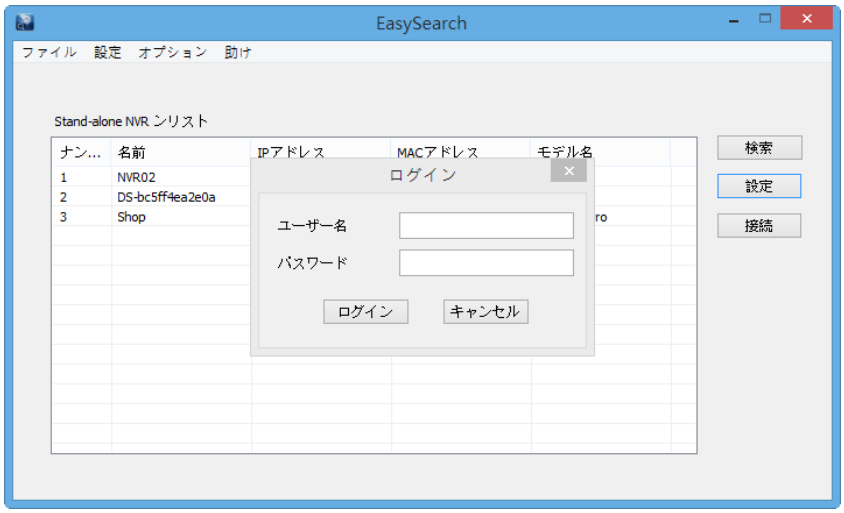


2. 設定



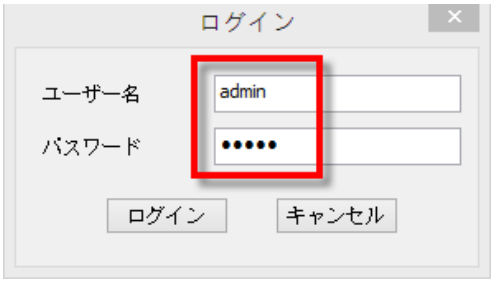
「設定」をクリックすると、Dual-Eye 4th のネットワーク設定を変更することができます。

⚠注意：設定を変更するためには、Dual-Eye 4th の管理者 ID（ユーザー名）とパスワードが必要です。



Dual-Eye 4th の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後「ログイン」をクリックします。

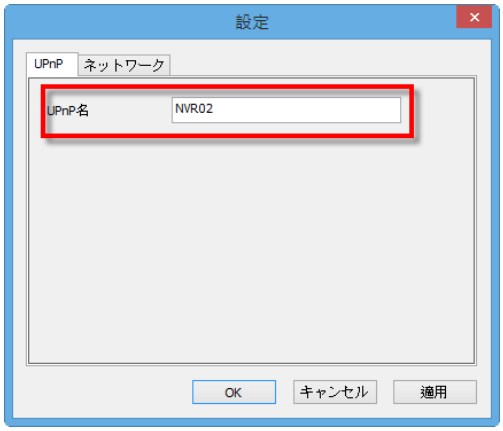
※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」です。



1） UPnP

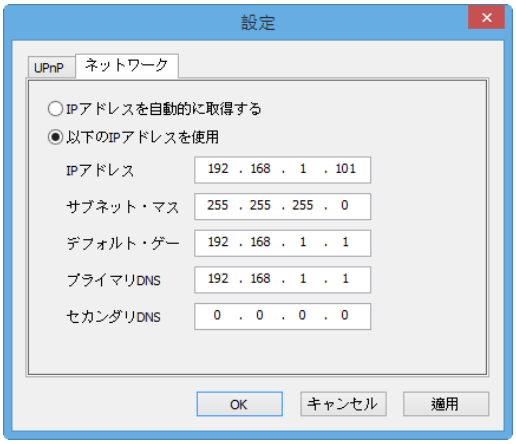
UPnP（Universal Plug and Play）で表示される名称を変更できます。

変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。

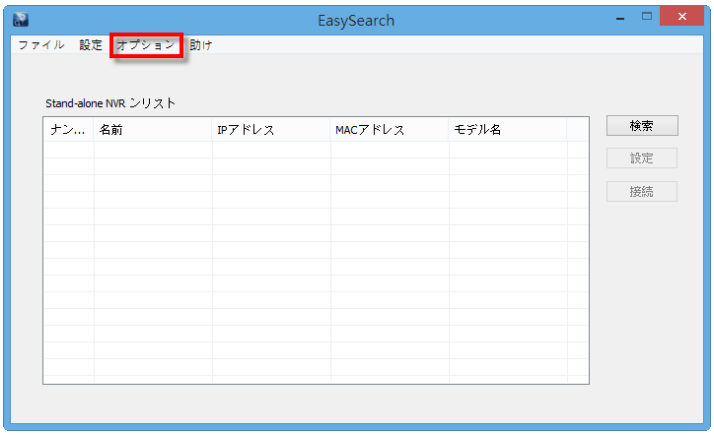


2）ネットワーク

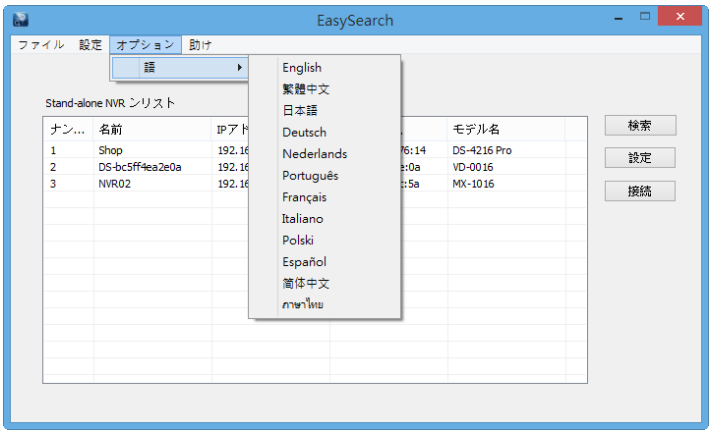
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と、固定 IP の設定による手動設定が選択可能です。



3. オプション



表示言語を変更できます。

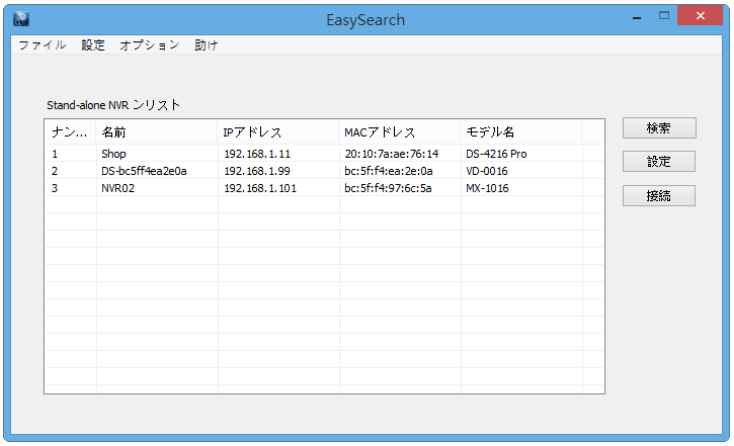


リストにある Dual-Eye 4th を選んで「接続」をクリックするか、Dual-Eye 4th 名をダブルクリックすると、ブラウザが立ち上がり Dual-Eye 4th に接続します。

2.2.2 Dual-Eye 4th への接続

1.Dual-Eye 4th への接続

EZ Search のインストールが終わったら、ブラウザを用いて Dual-Eye 4th に接続し、カメラの設定を行ってください。



1）EZ Search を使って接続する

リストから Dual-Eye 4th を選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、Dual-Eye 4th に接続します。

2）ブラウザを立ち上げてから接続する

Dual-Eye 4th の IP アドレスを入力して接続してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名／パスワードを入力し、ログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

ドロップダウンリストで言語を指定してください。

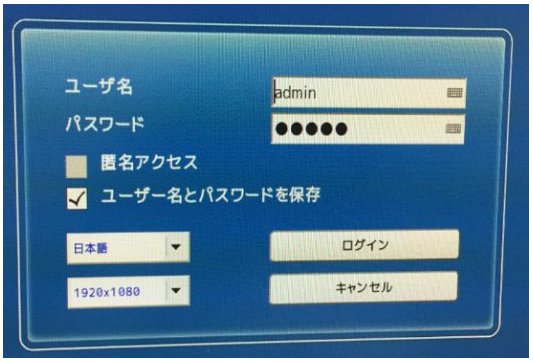
Chapter 3. ローカル・ディスプレイでの操作

HDMI でモニターを Dual-Eye 4th に接続して、クイック設定やライブ表示を行うことができます。

ローカル・ディスプレイを接続する前に、以下の準備を行ってください。

1. Dual-Eye 4th とカメラをネットワークに接続してください。
2. Dual-Eye 4th 背面のポート（HDMI）とモニターを正しく接続してください。
3. Dual-Eye 4th の USB ポートにマウスを接続してください。
4. Dual-Eye 4th に電源コードをつなぎ、電源をオンにしてください。
5. Dual-Eye 4th にログインする際、ユーザー名とパスワードを入力し（初期値はどちらも「admin」）、表示言語を選択してください。

3.1 ログインする



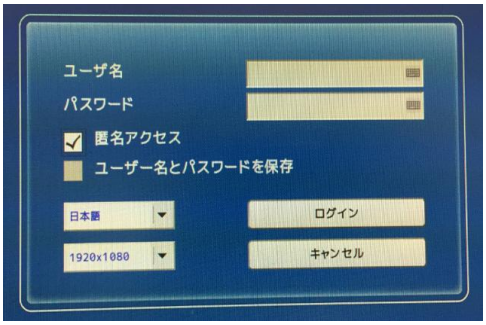
ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。

解像度：3840×2160、1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます（モニターが対応している場合）。

※4K モニターを使用したデュアル・ディスプレイモードは複製モードのみできます。

3.1.1 匿名アクセス

匿名アクセスを行えば、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

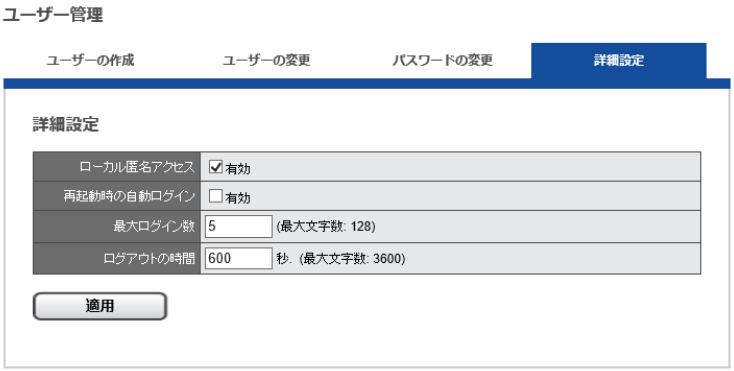


匿名アクセスをした時はライブ表示のみ行えます。設定ページへは移動できません。

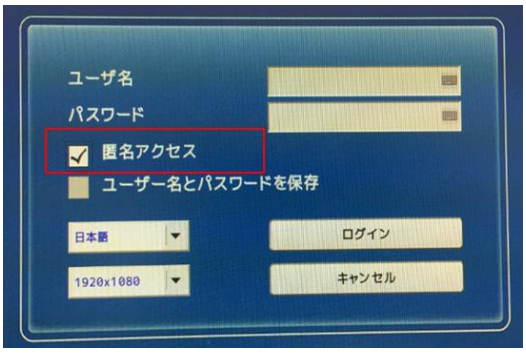
匿名アクセスが行われたことはログに記録されます。

匿名アクセスを有効にする

A. PC で Dual-Eye 4th にログインして、「設定 > 管理 > ユーザー管理 > 詳細設定」へ移動します。



B. 「ローカル匿名アクセス」にチェックを入れます。

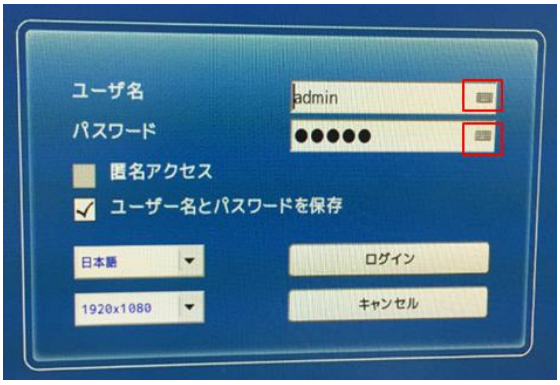


C. ローカル・ディスプレイのログイン画面で匿名アクセスが可能になります。

バーチャル・キーボード

文字入力の必要がある時は、USB キーボードを Dual-Eye 4th の USB 端子に接続するか、バーチャル・キーボードを使用してください。

バーチャル・キーボードは、各コラムの右側にアイコンが用意されています。



バーチャル・キーボードには大文字、小文字、記号の 3 モードがあります。

-大文字 -小文字 -記号

3.2 映像表示

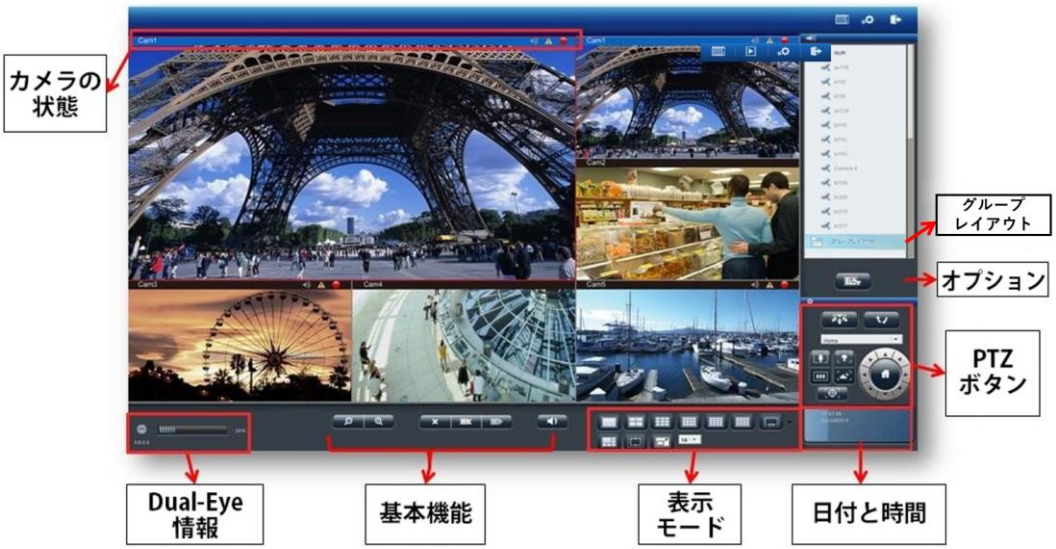
3.2.1 映像表示モードの選択

右上 3 つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	設定： カメラ、ライブ、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： Dual-Eye 4th からログアウトする時にクリックします。
	録画再生： DIGISTOR との連動時、DIGISTOR の録画データを再生できます。

3.2.2 映像表示での主な機能

1. カメラの状態



アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 ＞ カメラ ＞ カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。 サポートしていない時は灰色で表示されます。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

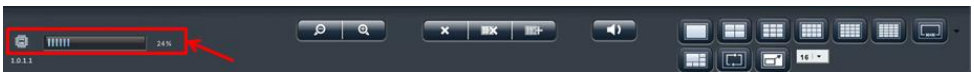
2. Dual-Eye 4th 情報

1）ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに Dual-Eye 4th のファームウェア・バージョンが表示されています。

2） システム負荷率

設定ページへ移動しなくても、システム負荷率を確認できます。



使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。

解像度や FPS、画質の変更中などは CPU の使用率が大きくなります。

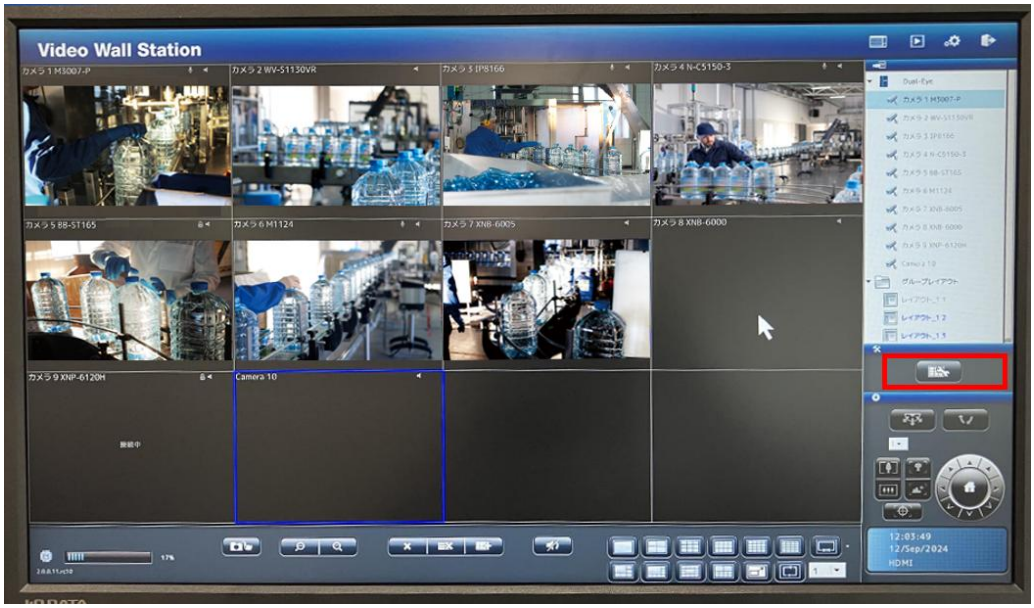
常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3） 基本機能

アイコン	内 容
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

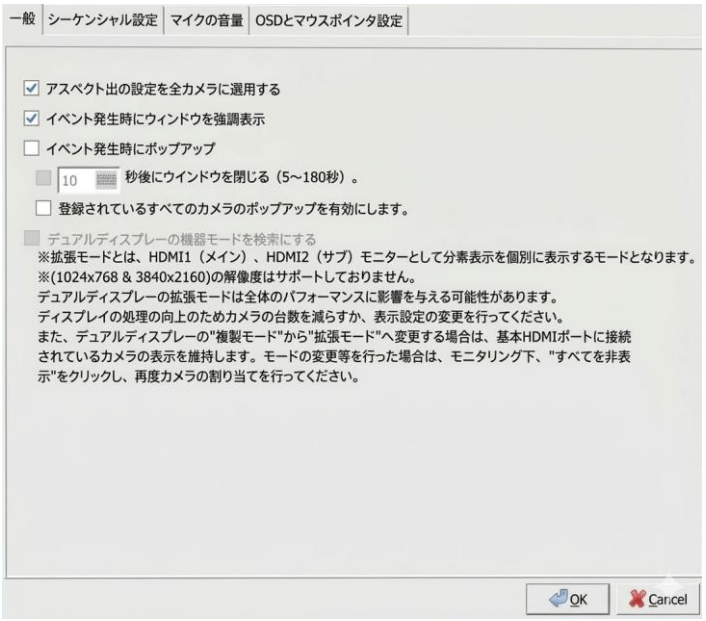
3.オプション

警告設定やウィンドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。



クリックすると下記の画面が表示されます。

1）一般設定



●アスペクト比の設定を全カメラに適用

「アスペクト比の設定を全カメラに適用」にチェックを入れると、カメラを右クリックした際に表示される、「アスペクト比」のメニューにて、すべての映像を「元のまま」または「最大化」に切り替えられます。

※Dual-Eye 4th では、以下は使用できません。

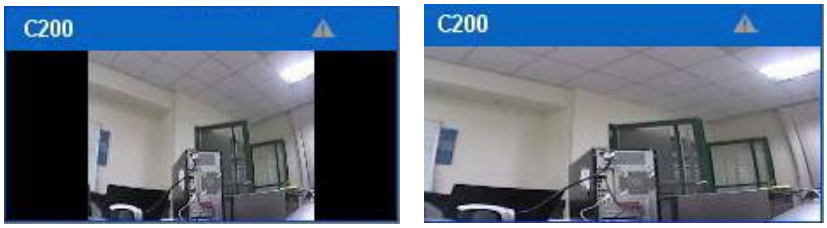
・「イベント発生時にウィンドウを強調表示」

・「イベント発生時にポップアップ」

・「登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします」

●デュアル・ディスプレイの個別モードを有効にする

「デュアル・ディスプレイの個別モードを有効にする」にチェックを入れると、HDMI 2 出力に異なったカメラの映像出力が可能です。



注意：イベント発生時にウインドウを強調表示、イベント発生時にポップアップの機能は使用できません。

２）シーケンシャル設定

ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

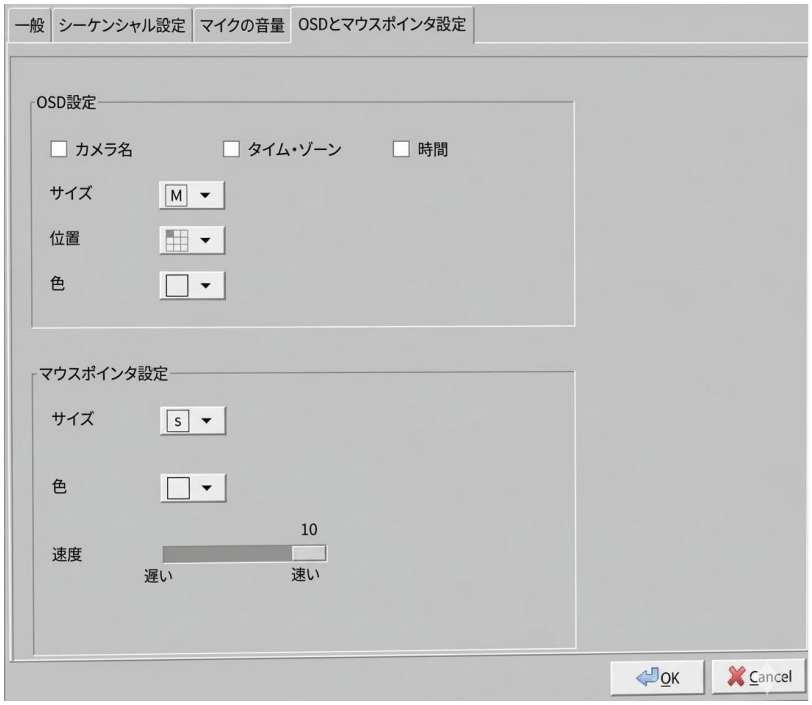
※4～6,000 秒の間で設定可能

３）マイクの音量

※使用できません。

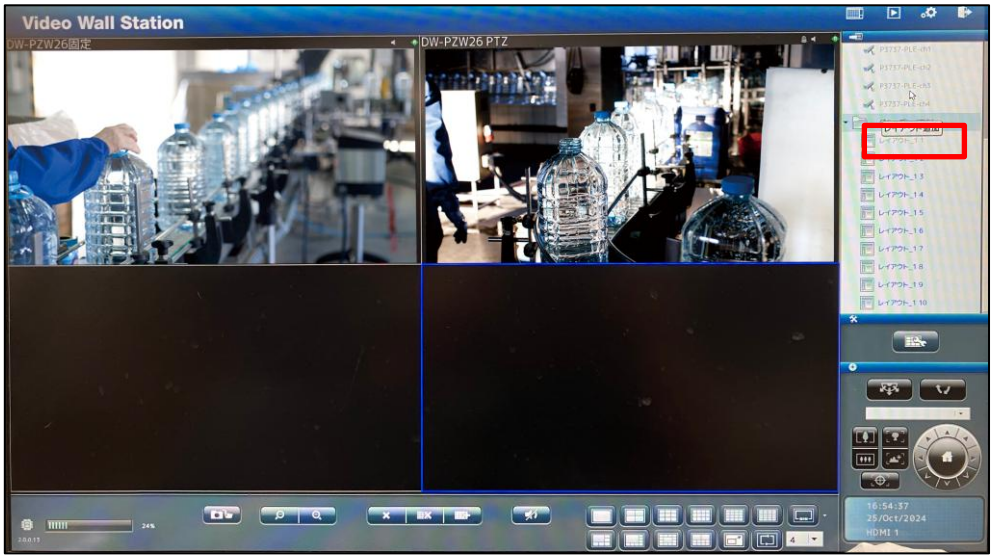
４）OSD とマウスポインタの設定

OSD の表示設定及び、マウスポインタの大きさ、色（白・黒）、速度の設定を行えます。



4.グループレイアウト機能

表示したいカメラをグループに分け登録し、ダブルクリックで表示変更ができる機能です。



①「グループレイアウト」を右クリックして、レイアウトを追加します。

②レイアウトが追加されますので、追加したグループの画面にカメラを配置します。

※分割数の変更もこちらで行ってください。

③設定後、設定した名称の「レイアウト」をダブルクリックすると、そのレイアウトが表示されます。

また、「グループレイアウト」をクリックしてシーケンシャルボタンを押すと、グループ内でのシーケンス動作が開始されます。

※ver6.0.0.20 からの機能です。

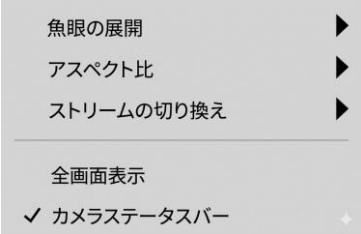
※グループのレイアウトから通常のレイアウトを選択する場合は、画面上部、Dual-Eye のアイコンをダブルクリックしてください。

また、レイアウト名の変更（日本語での表示・入力）については、PC を使用し、設定メニュー内、管理→ライブモニタ設定→グループレイアウトより、設定が可能です。

※表示モニタ番号及び、表示カメラチャンネル（表示順の情報）も参考に表示しております。

※ユーザー権限設定により、グループレイアウトの使用可否の設定はできません。

3.2.3 オプション（映像ウィンドウ上の右クリック）



1.魚眼の展開：全方位カメラの映像を補整する際に使用できます。

（1）全方位カメラの補正機能

a.「魚眼の展開」を選択すると、カメラの位置及び、表示モードの変更ができます。

b. カメラの設置場所及び、表示したい画面構成を選択し使用してください。

2.アスペクト比：カメラの表示アスペクト比をもとのまま、または最大化（ウインドウに合わせる）を切り替えます。

3.ストリームの切り替え：表示しているストリーミングの切り替えを手動で行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。

※「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適なストリームが表示されます。

また、ストリームをサーバーから配信、もしくはリレーサーバーから配信を選択した場合は、常に NVR 経由でストリームを受信します。

※詳細は、NVR の取扱説明書を参照してください。

4.全画面表示：全画面表示を行います。

5.カメラステータスバー：カメラ情報などの各々のカメラの上部の帯、ステータスバーの、表示／非表示の切り替えができます。

3.3 録画再生

DIGISTOR と連携することで、Dual-Eye 4th での録画再生の機能を使用できます。

※カメラの登録画面で DIGISTOR の IP アドレスを入力し、登録を行ってください。

※DIGISTOR と連携すると、ライブ画面で「 」のアイコンがカメラステータスバーに表示されます。

※再生は 16 台まで同時に選択できます。データ量等により、思ったように再生されないケースが想定されますので、その際は、選択しているカメラの台数を減らして再生を行ってください。

3.3.1 録画再生の手順

録画再生は次の手順で行います。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

カメラを選択してください。※最大 16 台まで

2.録画タイプの選択

再生したい日付と時刻を指定してください。

選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。

再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3.録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1.「一時停止」ボタンをクリックします。

2.「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。

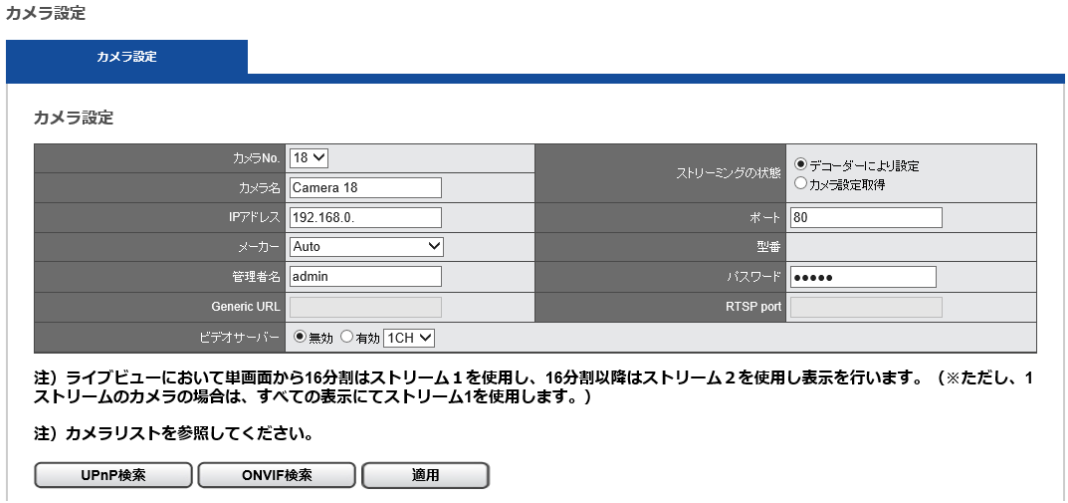
Chapter 4. 設定

4.1 カメラ設定

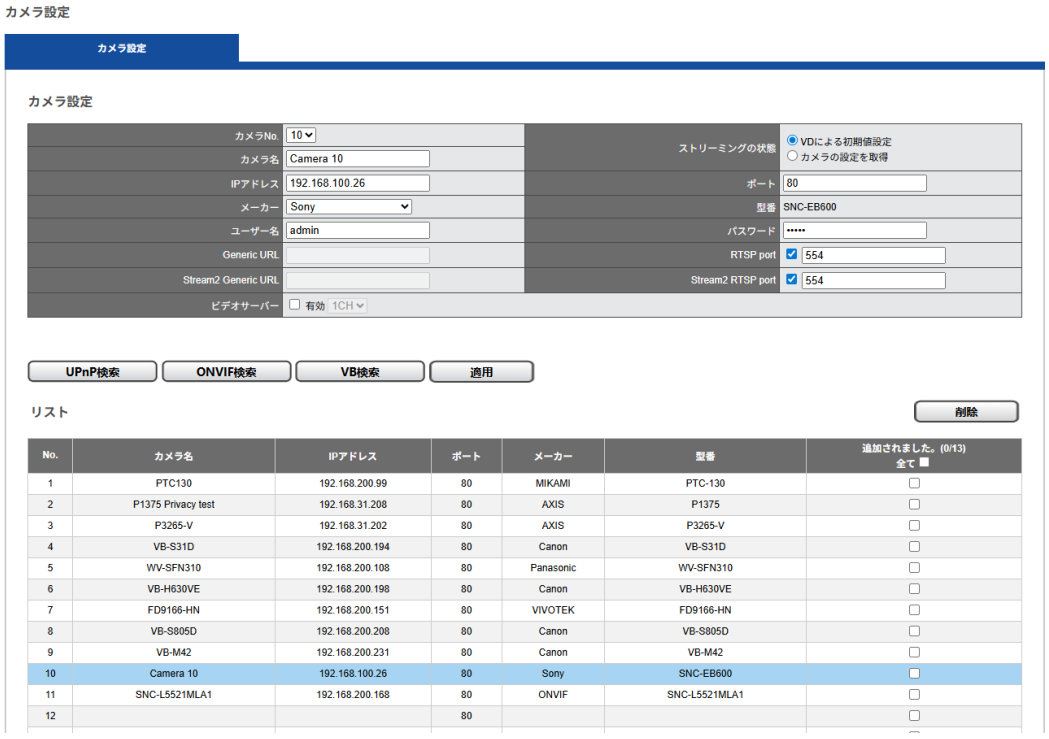
1.カメラ設定

IP アドレスを入力し、「メーカー名」を選択、カメラの管理者ユーザー名、パスワードを入力、その後、「適用」をクリックしてカメラを登録します。

※DIGISTOR の IP アドレスを入力し、登録することにより連携機能が使用できます。



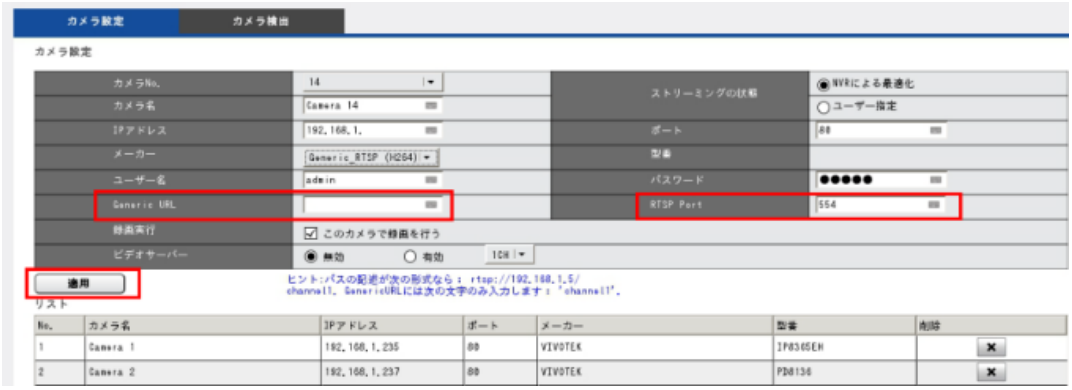
登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が追加表示されます。



●Generic RTSP(TCP)/ Generic MJPEG/Generic RTSP(UDP)

Dual-Eye 4th は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示で用いられます（※あくまでテスト用の機能です）。

Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。



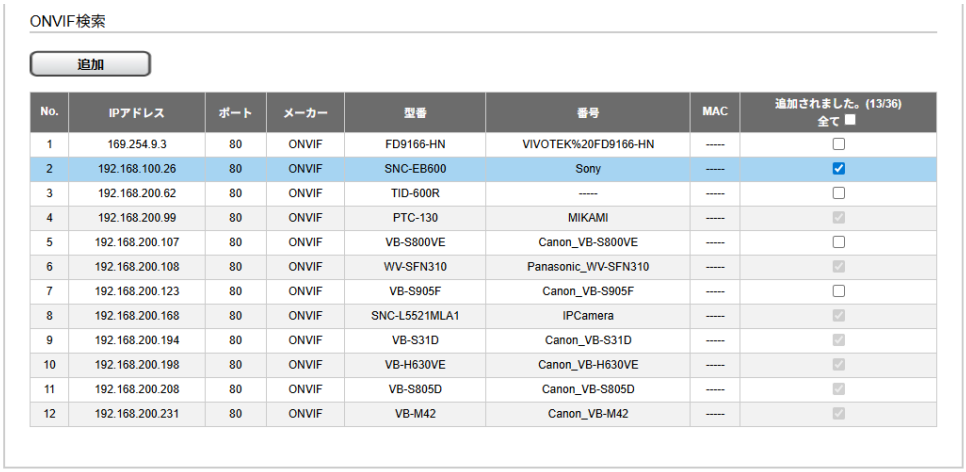
「適用」をクリックすると設定が反映されます。

2. UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。

一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。

検索後、登録可能なカメラが一覧表示されます。リストから「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。



追加ボタンを押下すると上記のような画面が表示されます。

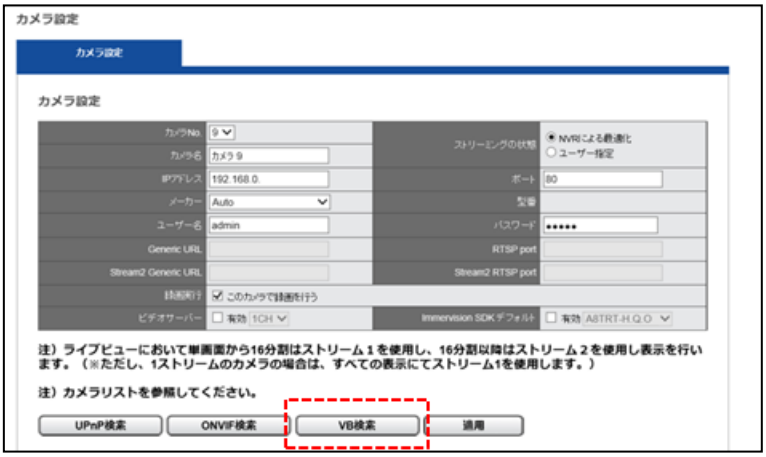
それぞれのユーザー名／パスワードを入力し、「すべてのカメラの追加」ボタンを押して、カメラの追加を行ってください。

3.VB 検索（※特定の Canon 製カメラのみ）

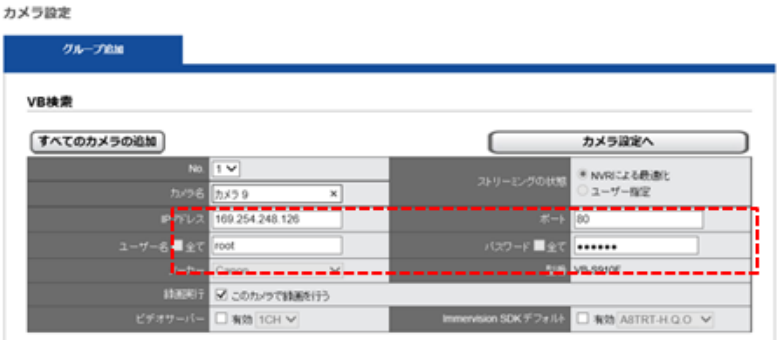
VB 検索をクリックすると、カメラが検索され、リストとして表示されます。

※Canon 製カメラとの組み合わせで使用できる初期設定検索です。使用できるカメラ等の内容は弊社 HP をご参照ください。検索を行えても設定できないカメラもあります。

登録を行いたいカメラを選択します。



カメラ名、IP アドレス、ユーザー名を任意で入力してください。



「すべてのカメラの追加」ボタンを押すと、設定を開始します。カメラの登録にはしばらく時間がかかります。

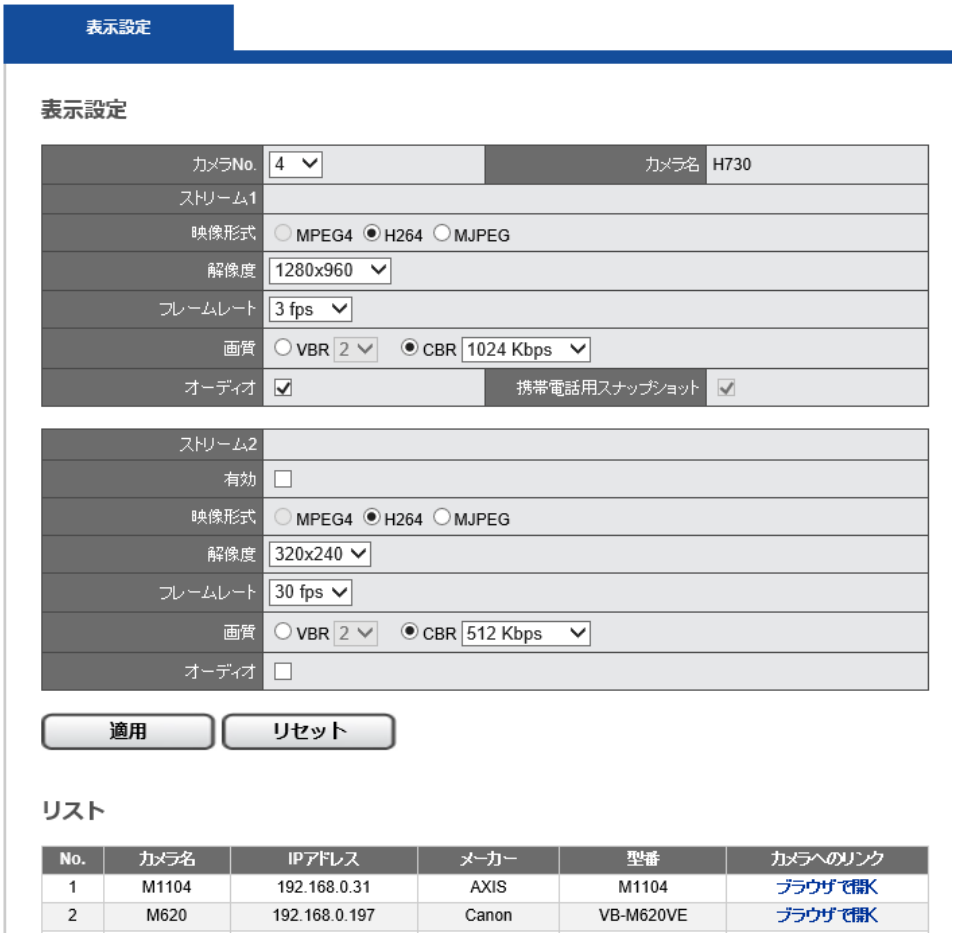
※ローカルネットワークのみで使用できる機能です。

※カメラは初期状態である必要があります。

※ネットワーク設定内にある DHCP の機能を使用すると、より簡単に設定することが可能です。

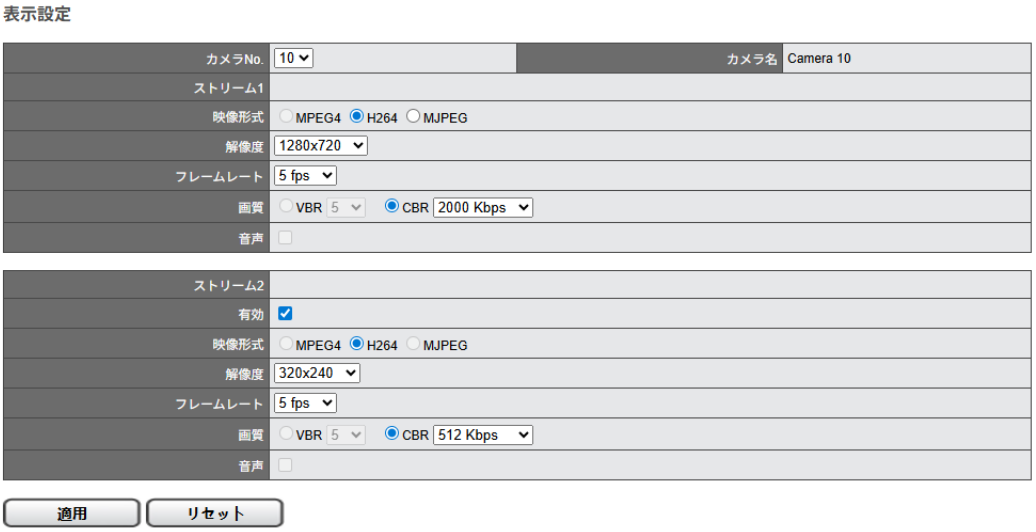
4.1.1 映像表示設定

メニューの中の「表示設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、Dual-Eye 4th は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は 1～12 分割表示に使用するライブ映像用で通常は高画質設定、ストリーム 2 は 16 分割以上の小さいライブ映像を表示するために使用し、普通は低画質設定を行います。それぞれ最適な解像度、フレームレート、画質を設定してください。

※映像表示設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選んでください。
　上段に設定情報が読み込まれます。



●映像形式

ライブ映像表示で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。詳しくは弊社 HP にあるカメラリストをご参照ください。

●解像度

ライブ映像表示で使用する解像度を選択してください。

●フレームレート

ライブ映像表示／モニタリング時のフレームレートを選択してください。実際に表示できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●画質

VBR（可変ビットレート）か CBR（固定ビットレート）を選択し、画質を選んでください（※カメラによって対応できるものとできないものがあります）。

●音声

オーディオ機能を有効にする時はチェックを入れてください。

注意：録画装置と併用して使用する場合は、原則その録画設定と同じ設定にして使用してください。

注意：カメラ側の同時接続数上限により、モニタリングでの映像が出力されない場合があります。

4.1.2 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると、Dual-Eye 4th に登録しているカメラの状態を確認できます。

接続状態が「接続しました」は、カメラと Dual-Eye 4th が正常に接続できている状態を表します。

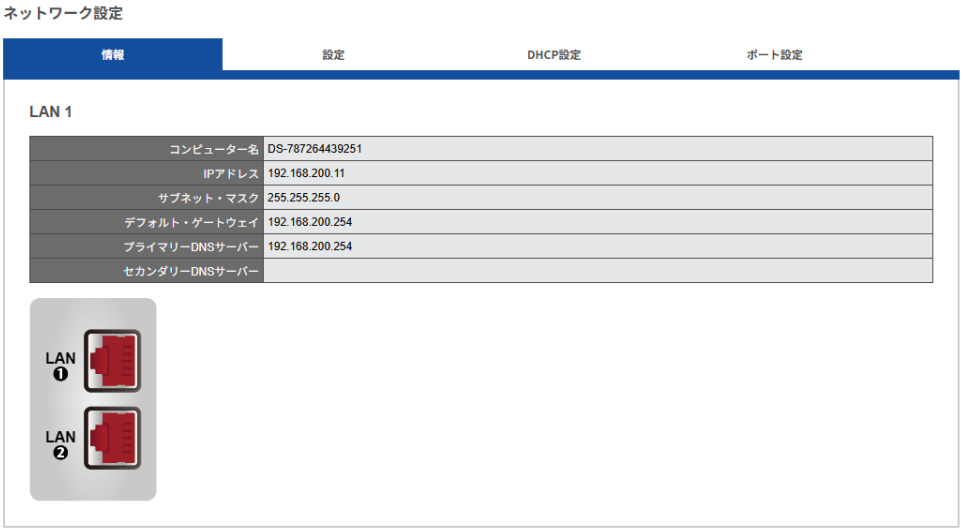
「接続不良」は何らかの理由で接続できていない状態です。

No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	フレームレート（fps）	ビットレート(Kbps)	映像形式	解像度	デバイス経由で
1	PTC130	192.168.200.99	接続しました	30 fps	2118.5 Kbps	H265	1920x1080	192.168.200.58
2	P1375 Privacy test	192.168.31.208	接続しました	11 fps	1127.3 Kbps	H264	1920x1080	192.168.200.58
3	P3265-V	192.168.31.202	接続しました	25 fps	227.7 Kbps	H264	1920x1080	192.168.200.58
4	VB-S31D	192.168.200.194	接続しました	5 fps	1728.8 Kbps	H264	1920x1080	192.168.200.58
5	WV-SFN310	192.168.200.108	接続しました	60 fps	944.9 Kbps	H264	1280x960	192.168.200.58
6	VB-H630VE	192.168.200.198	接続しました	5 fps	2376.7 Kbps	H264	1920x1080	192.168.200.58
7	FD9166-HN	192.168.200.151	接続しました	5 fps	71.7 Kbps	H264	1920x1080	192.168.200.58
8	VB-S805D	192.168.200.208	接続しました	5 fps	2031.5 Kbps	H264	1280x960	192.168.200.58
9	VB-M42	192.168.200.231	接続しました	5 fps	2082.1 Kbps	H264	1280x960	192.168.200.58
10	Camera 10	192.168.100.26	接続しました	30 fps	1947.6 Kbps	H264	1280x720	----

4.2 ネットワーク設定

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

1．情報



コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリー及びセカンダリー DNS 情報を表示します。

2．設定

設置するネットワークの状況に応じて、設定を入力してください。

■ネットワークインターフェイス

共有の IP：LAN①、LAN②を同じ IP アドレスを使用して設定を行います。

個別の IP：LAN①、LAN②を異なった IP アドレスを使用して設定を行います。

ポートトランキング：専門家のみ使用できる機能です。

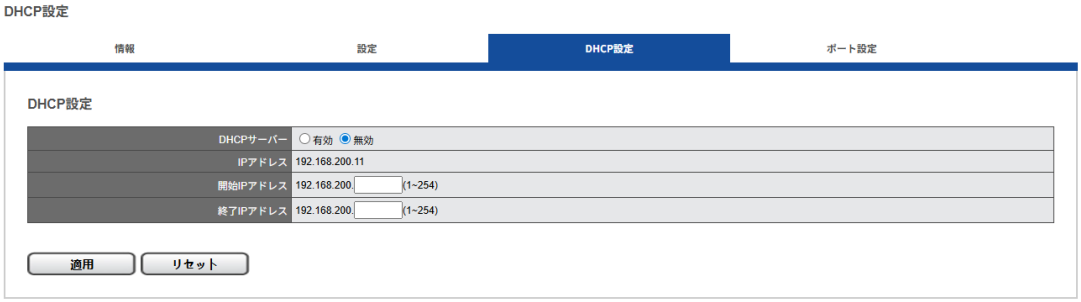
■LAN 1

コンピューター名：任意の名称を入力できます。

インターネットプロトコル：基本は固定 IP を使用してください。

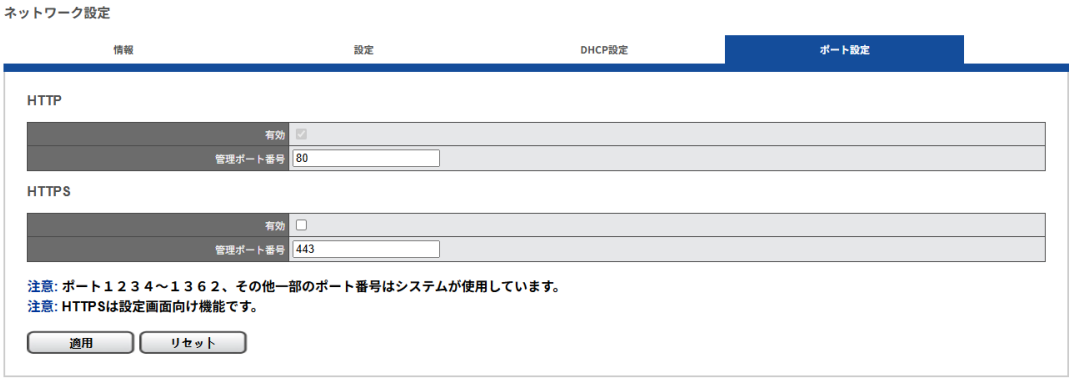
●DHCP 設定

NVR が DHCP サーバーになる機能です。使用する場合は「有効」にして、開始／終了アドレスを入力してください。



●ポート設定

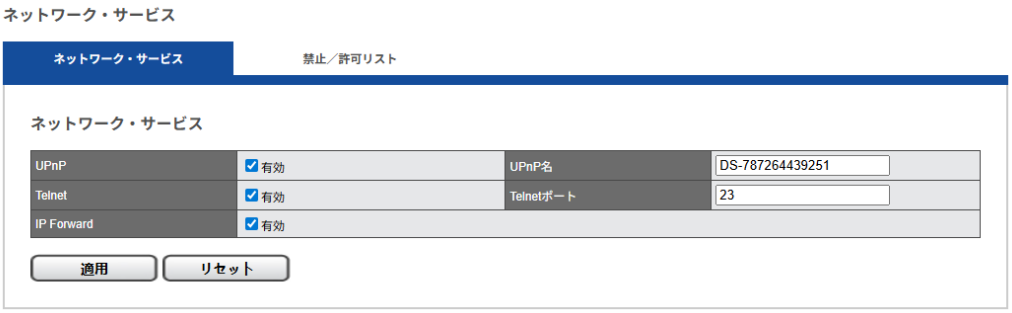
80 番以外のポートを使用する場合は、HTTP サービスより 80 番のポートから変更できます。



4.2.1 ネットワークサービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください

1.ネットワークサービス



UPnP の有効／無効を切り換えられます。また UPnP で使用するコンピューター名を変更できます（半角英数で最大 32 文字）。

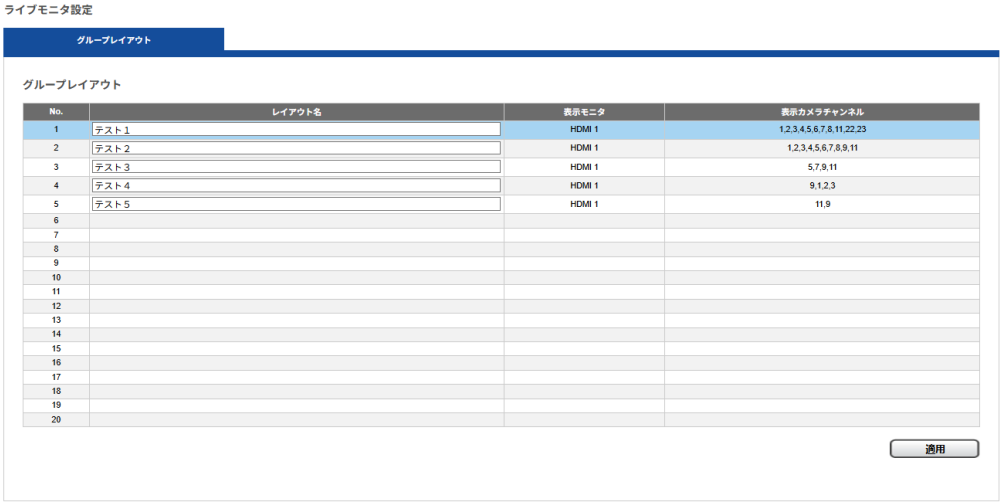
2．禁止許可リスト

4.3 管理

「管理」設定ページでは、「グループレイアウトのライブ設定」、「ユーザー管理・追加・削除」、「各種ログ」の確認などを行うことができます。

4.3.1 ライブモニタ設定 ※PC のみのメニューです。

ライブモニタ設定では、グループレイアウトで設定したグループレイアウトの設定の確認ができます。



レイアウト名：レイアウトの名称です。PC では日本語の入力が可能です。

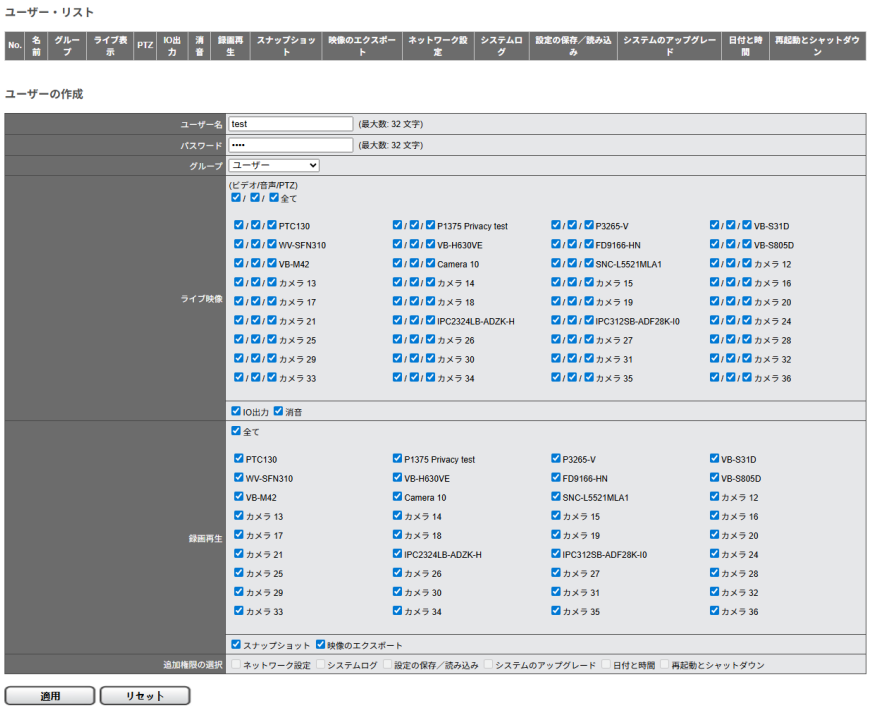
表示モニタ：表示される HDMI のインターフェイスを表示します。

表示カメラチャンネル：左上からの表示順を表示します。

4.3.2 ユーザー管理

ユーザー管理メニューでは、権限を付与した個別のユーザーの作成ができます。

1.ユーザーの作成

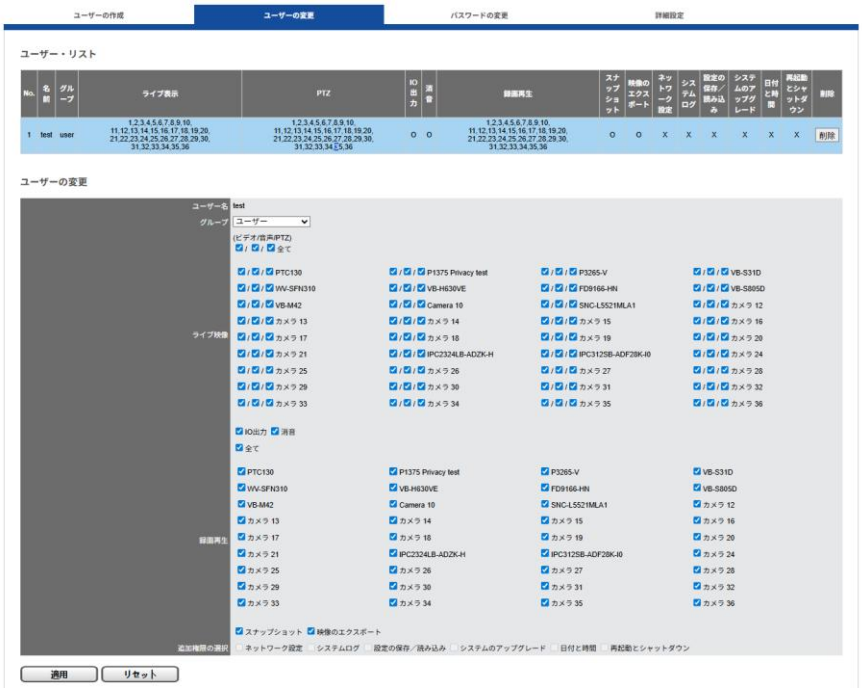


ユーザー名、パスワード、グループ「ユーザーもしくは、パワーユーザー」、ライブ映像の権限（録画再生の権限※DIGISTOR と連携した際の機能）が設定可能です。

「適用」ボタンをクリックすると、ユーザーが作成されます。

2.ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。



ユーザーの権限変更を行う時は、適宜変更して「適用」をクリックします。登録しているユーザーを削除する時は、リストで選択して「削除」をクリックします。

３.パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

４.詳細設定

このページでは、匿名アクセスの設定が使用可能です。

匿名アクセスを使用することにより、ログイン情報を入力することなく、ライブ映像を表示できます。

●ローカル匿名アクセス：

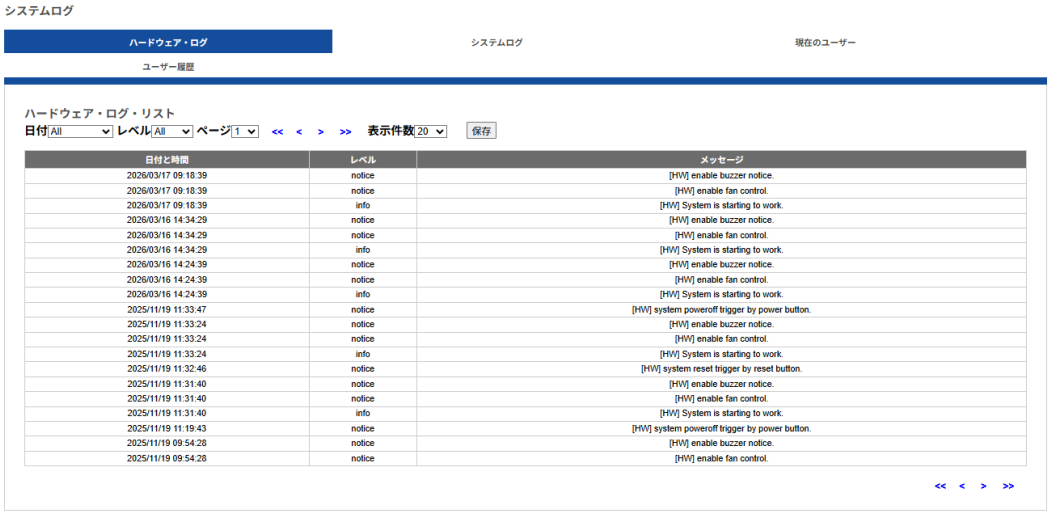
簡易のライブ表示のみ使用可能なユーザーでログインを行います。

●再起動時の自動ログイン

この機能を使用すると、再起動時にも前回使用したユーザー名で自動ログインが行えます（※ローカル匿名アクセスとの併用はできません）。

4.3.3 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。Dual-Eye 4th が保存するログには、次の 5 種類があります：ハードウェア・ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴



●ハードウェア・ログ

CPU、ブザー、システム、USB などハードウェアに関するログが記録されます。

●システムログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、設定に関するログが記録されます。

●現在のユーザー

現在、Dual-Eye 4th にログインしているユーザーの情報を表示します。

●ユーザー履歴

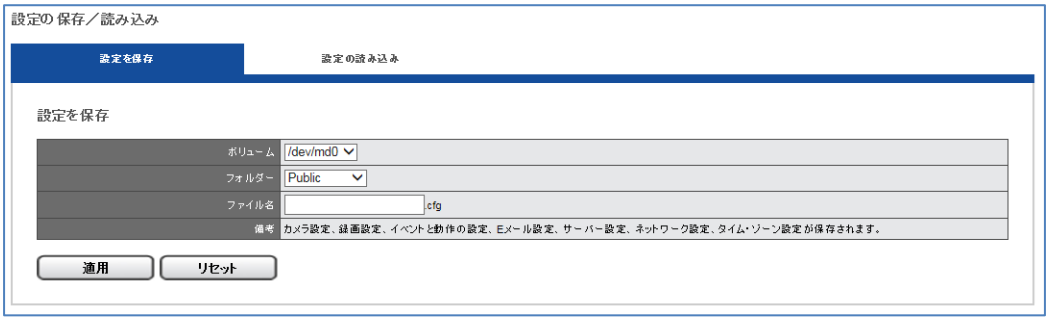
Dual-Eye 4th にログインしたユーザー情報が記録されます。

4.3.4 設定の保存／読み込み（設定の初期化）

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

●設定の保存

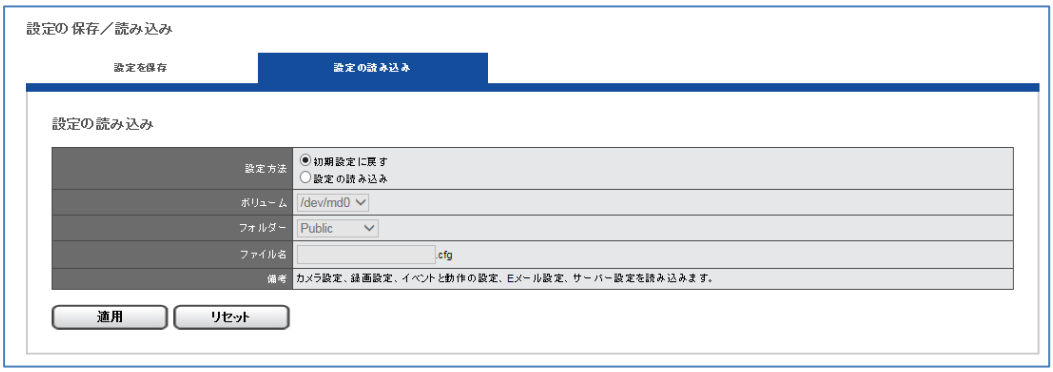
設定の保存を行うには、ボリュームとフォルダをメニューから選択し、保存先を決定して、適用ボタンを押してください。



注意：設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、E メール設定、サーバー設定が含まれます。

●設定の読み込み

設定ファイルを読み込むことで、設定をコピーすることができます。



「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択し、cfg ファイルを選択して「適用」をクリックすると、設定が書き換えられます。

※作成したレイアウトに関しては、削除されないため、手動で削除してください。

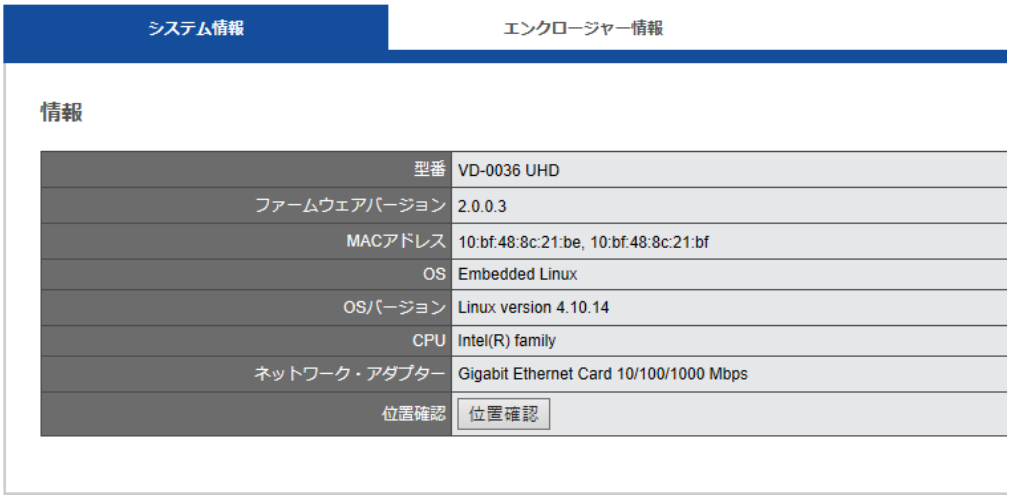
4.4 システム

4.4.1 機器情報

「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

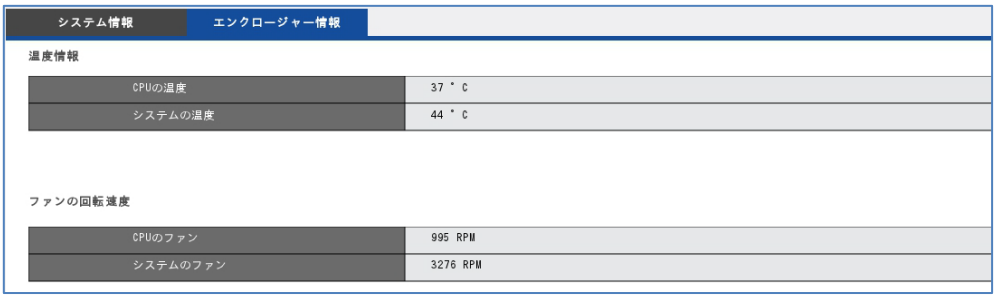
●システム情報

型番、ファームウェア Ver、MAC アドレス、ネットワーク・アダプター等の情報を表示します。



●位置確認

ボタンをクリックすると 3 秒間、Dual-Eye 4th 本体からブザーが鳴ります。複数の Dual-Eye 4th を運用している時など、位置を特定するのに便利です。



●エンクロージャー情報

CPU の温度の状態などが表示されます。

※**注意:** Dual-Eye 4th の動作温度は 0～40℃です。

4.4.2 システムのアップグレード

ローカル・ディスプレイを操作して、Dual-Eye 4th のファームウェアをバージョン・アップできます

※注意：お使いの Dual-Eye 4th のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

※アップグレード実施前に必ず再起動を一度実施していただき、再起動後にアップグレードを実施してください。

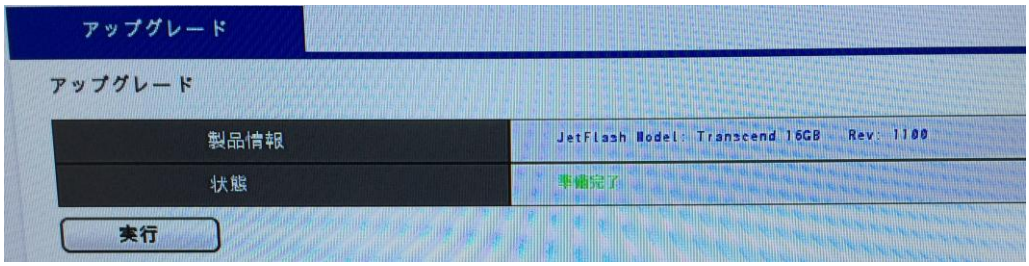
●ローカル・ディスプレイによるアップデート

最新のファームウェアを取得してください（※詳細は販売店にお問合せください）。

USB メモリを準備して、ファイルをメモリに入れてください。

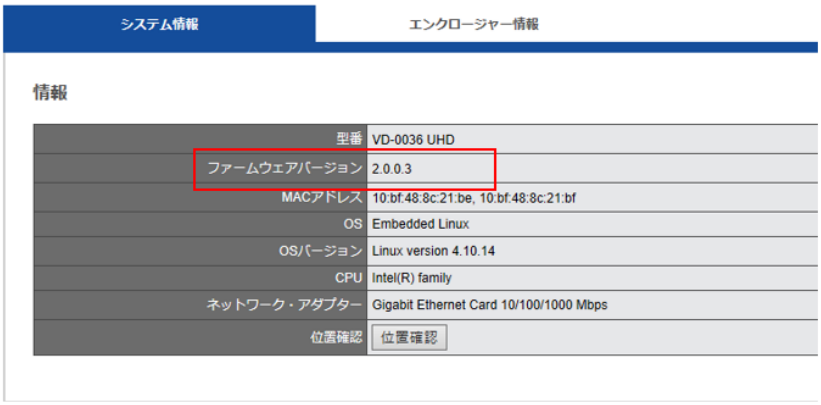
（※一番上の階層に update.bin のみが入るようにしてください。また、USB ドライブは FAT32 にてフォーマットを行ったものを使用してください）

①システムをアップデートします。



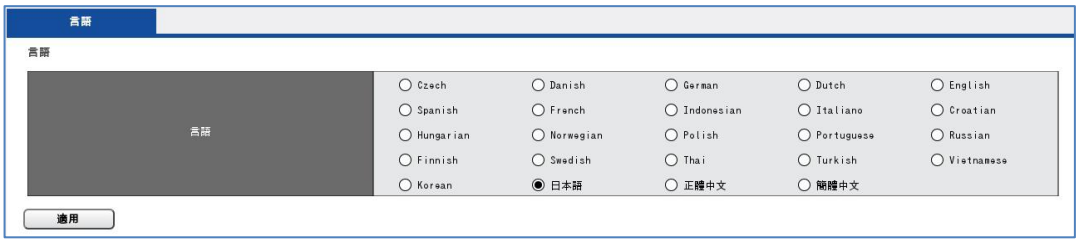
②アップデートが完了すると再起動を自動的に行います。

③正常にアップデートが行われたかどうかシステム情報より確認してください。



4.4.3 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語が自動で選択されます。

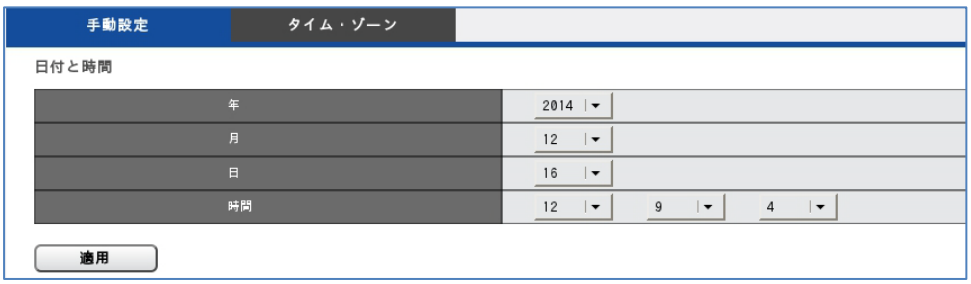


「適用」を押し、設定を完了してください。

4.4.4 日付と時間

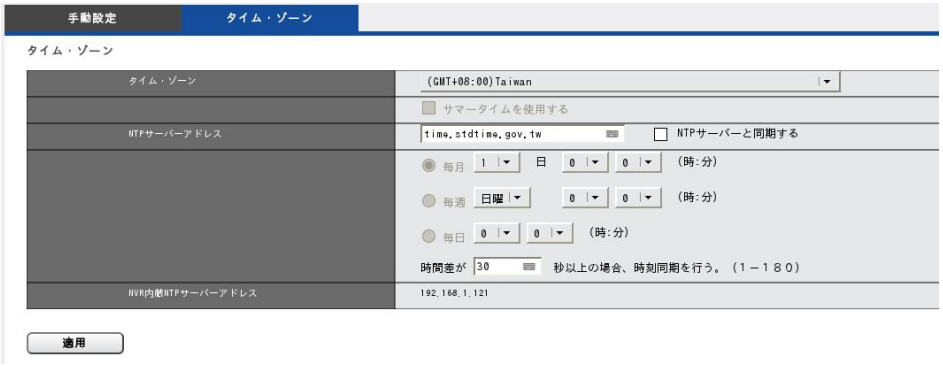
「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

1.セットアップ



手動で設定する時は年・月・日と時間を選択して「適用」をクリックしてください。

2.タイムゾーン



使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また、夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は、NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

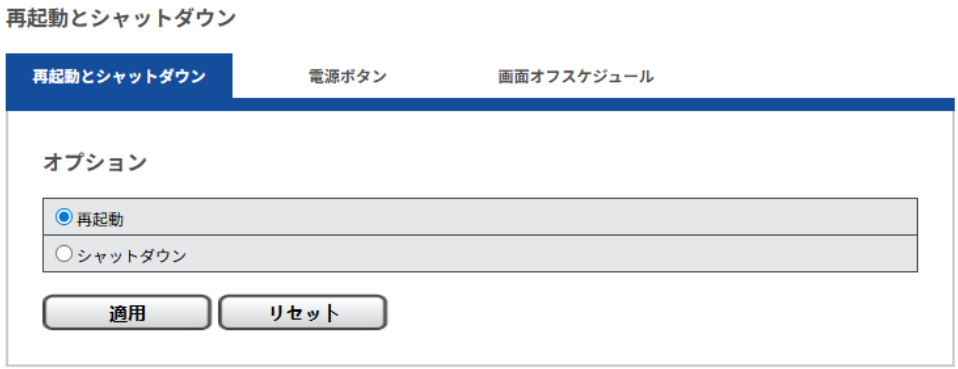
●Dual-Eye 4th にビルトインされた NTP サーバー：

Dual-Eye 4th を NTP サーバーとして利用することができます。

使用する場合は、同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

4.4.5　再起動とシャットダウン

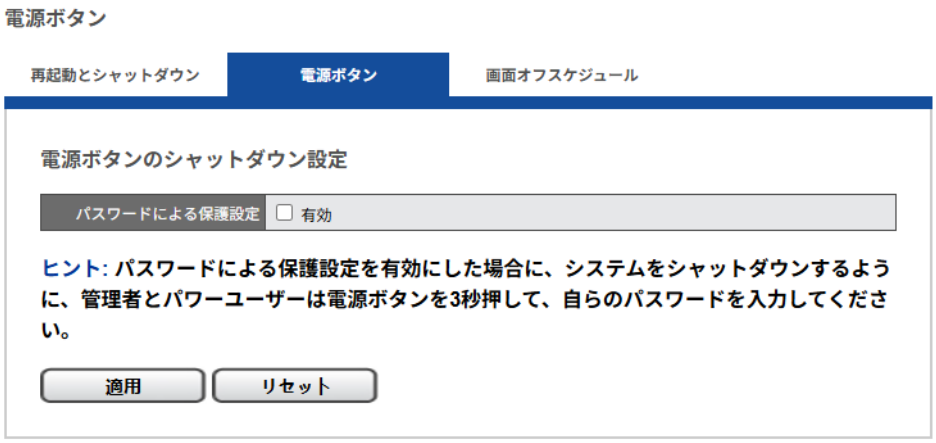
1.再起動とシャットダウン



「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。

「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。

2.電源ボタン



「パスワードによる保護設定」にチェックを入れることで、パスワード入力を行わない限りシャットダウンできない機能です。電源ボタンを 3 秒押下したのち、パスワードが要求されますので、パスワードを入力してシャットダウンを行ってください。

3.画面オフスケジュール

画面オフのスケジュールを設定することで、モニタリングを行う必要のない時間帯、モニターの映像が黒画面になります。

※画面オフ機能動作中にマウス操作を行うと画面オフが解除されます。解除後は、次回設定されたスケジュールの開始時間に再度画面オフが実行されます。

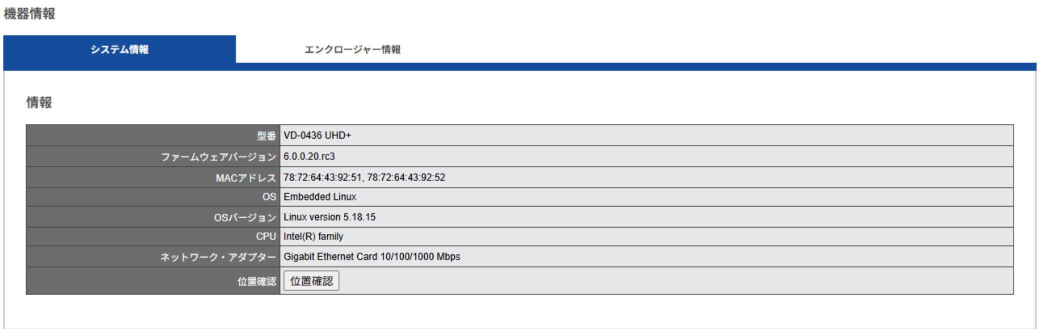
※曜日と時間の範囲の設定（※１個のみ）を行い、使用してください。

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋
《補足》
＝カメラ追加アップグレード＝

カメラを追加アップグレードしたい Dual-Eye4th の情報を取得してください。

※型番及び、“MAC アドレス”もしくは、本体記載のシリアル番号の情報が必須です。

※カメラ追加アップグレードは、PC を使用して行います。



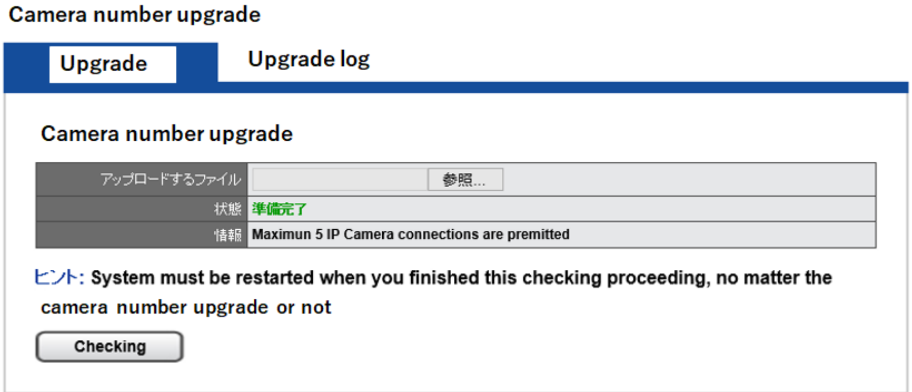
型番	VD-0436 UHD+
ファームウェアバージョン	6.0.0.20.rc3
MACアドレス	78:72:64:43:92:51, 78:72:64:43:92:52
OS	Embedded Linux
OSバージョン	Linux version 5.18.15
CPU	Intel(R) family
ネットワーク・アダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

機器にログイン後、「設定」→「機器情報」より、その情報を確認できます。

上記の情報を元に、アップグレードキーのファイルを発行します。

アップグレードのキーファイルを受け取ったら下記アドレスを入力し、アップグレードキーの画面に移行してください。

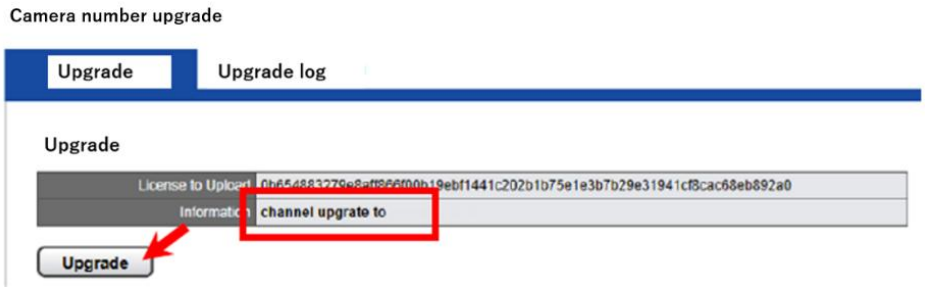
http://レコーダーの IP アドレス/**cfg_management_licensecheck.htm**



上記メニューでファイルの「参照」ボタンを押し、お送りしたキーファイルを選択した後、「Checking」ボタンを押してください。

ファイルをアップロードすると、下記の画面が表示されます。

「Upgrade」ボタンを押し、カメラ追加アップグレードを開始してください。



※ファイルに不備があった場合、下記の画面が表示されます。

１.「カメラ」→「カメラ設定」内のリストにチャンネルが追加されます。

２.念のため機器ログイン後、「設定」→「機器情報」より内容の確認をお願いします。

※確認後、念のためレコーダーの再起動をお願い致します。